



## 期末テスト前の学習時間 1日平均 3.68 時間

11月12日(火)～11月21日(木)の10日間、「学習強化期間」として2学期期末テスト前「家庭学習時間の学年合計を6880時間以上」を目標に取り組みました。結果は6322時間で一人1日平均3.68時間でした。前回の2学期中間テスト前は、一人1日平均3.64時間だったので、611.29時間増加しました。学年目標は達成できませんでしたが、最高だった前回一人1日平均3.64時間を上回りました。さすが受験生です。2月中頃に行われる3学期期末では私立高校一般入試後となります。「家庭学習時間の一人1日平均4時間以上、学年合計を6880時間以上」を目標に頑張ってください。



## 第6回(11月)漢字テスト満点者です

11月14日(木)の朝、全校一斉で漢字テストが行われました。3年生にとっては6回目の漢字テストです。満点者は以下のとおりです。第5回に比べると、満点者の人数は学年全体で44人から59人と増加しました。また、80点未満の不合格者は学年全体で43人から30人と減少しました。2学期期末テストの1週間前だったので、もっと良い結果を期待していました。受験生としての文武両道の意識を今以上に高めてほしいものです。ご家庭でも、毎月行われる漢字テストのテスト勉強への更なる応援や励ましなどをよろしくお願いいたします。

### 1組

角 幸杏  
加茂川香柚  
向田 澄  
越村 胡桃  
坂本 玲奈  
清水 直樹  
杉本明日香  
須田 喜香  
高橋 駿  
谷川 瑞季  
津田 翔  
出島 彩羽  
中田 匡哉  
詠 結香  
萩 柊太  
南 美友佳

### 2組

栗原 脩成  
岡島 小花  
岡田 夏希  
甲部 尚子  
長井 旺心  
氷見 葵  
船木竜之介  
丸世 琉華  
水岡 初花  
南田 蒼介  
三輪麻優果

がんばってね



### 3組

奥村 宥斗  
北方 輝空  
高橋 あい  
西村 優杏  
藤澤 奏哉  
槇矢とな美  
山口 なる



### 4組

東 麗蘭  
刈本 咲季  
川本 彩矢  
米谷 しえ  
坂下 翔哉  
清水 恵亮  
中山 温樹  
西田 愛華  
畠中 健瑠  
古谷 結希  
前谷内莉子  
森 さくら  
森原 菜月



### 5組

上杉美衣那  
加納 楓蓮  
北方 飛陽  
坂 眞太郎  
鈴木 心瞳  
高森 悠斗  
友部 来望  
水上 爽汰  
三野 凛奈  
村田 琉星  
谷内斗獅郎  
山崎菜七子

ファイト!! がんばれ!!



# 次は募金活動のボランティアへ!!

前回の学年だよりでお知らせしたとおり、10月31日(木)本校の学校祭2日目で、3年生は「能登に元気を!!」をテーマに穴水町から提供された震災によって出てきた家屋の瓦・木材・輪島塗漆器を材料に、巨大壁画を制作しました。その巨大壁画をもとに、能登にエールを送るために「北國新聞」だけでなく「朝日新聞」にもご協力をさせていただきました。さらに、朝日新聞デジタルにも掲載されました。

被災地にエールを送ろうと制作した壁画を囲む津幡南中の3年生=津幡町南中条



## 巨大壁画 能登へエール

津幡南中生 被災地の廃材で制作

能登半島地震や豪雨災害に遭った被災地にエールを送りたいと、津幡町の津幡南中学校の3年生が能登の廃材やがれきを使った巨大壁画を完成させ、10月31日、学校祭で披露された。

壁画は高さ3メートル、幅6メートル。「震災をずっと伝えたい」との思いから、正面玄関に飾られる。

元日の地震では、津幡町でも道路陥没や家屋損壊の被害が出ている。同中も断水で、2週間ほど仮設トイレを使った。奥能登から転校、避難してきた生徒もあり、学校で募金活動を続けてきた。

これからも被災地を励まし、笑顔を送りたいと、3年生と学年担当の教諭らが壁画づくりを発案。よ

能登半島を、強い生命力を示す麻の葉文様、加賀地方を桜文様にし、津幡町の「町の鳥」の白鳥が、ガベラの空に飛び立つ様子を描いた。

3年生172人が、瓦や木材を細かく砕いたり、色を塗ったりして3週間かけて完成させた。中心になって制作した谷口ゆずのさん(14)は「豪雨災害も重なり、大変な思いをしている人がたくさんいると思う。でも、みなさんは1人じゃないという気持ちと、元気をあげられたらという気持ちを含めた」と話した。(前多健吾)

## 朝日新聞デジタルに掲載

朝日新聞デジタル > 記事

### 被災地にエール送りたい 津幡南中が廃材などで巨大壁画を制作

前多健吾 2024年11月4日 10時00分



能登の被災地にエールを送ろうと制作した壁画を囲む津幡南中の3年生=2024年10月31日午後3時25分、石川県津幡町南中条、前多健吾撮影

能登半島地震や豪雨災害に遭った被災地にエールを送りたいと、石川県津幡町の津幡南中学校の3年生が能登の廃材やがれきを使った巨大壁画を完成させ、10月31日、学校祭で披露された。

壁画は高さ3メートル、幅6メートル。「震災を忘れず、ずっと伝えたい」との思いから、正面玄関に飾られる。

元日の地震では、津幡町でも液状化などで道路陥没や家屋損壊の被害が出ている。同中も断水でトイレが使えず、2週間ほど仮設トイレを使った。奥能登から転校、避難してきた生徒もあり、学校で募金活動を続けてきた。

これからも被災地を励まし、笑顔を送りたいと、3年生と学年担当の教諭らが壁画づくりを発案。より能登を身近に感じたいと、被災地の廃材で制作することにした。廃材集めには穴水町の教育委員会が協力。被災家屋の柱や割れた瓦、食器など2トンを集めた。



私たちは能登半島を応援しています

た。

図案・デザインも生徒や美術の教諭らが相談して決定。能登半島を、強い生命力を示す麻の葉文様、加賀地方を桜文様にし、津幡町の「町の鳥」の白鳥が、「希望」「常に前進」の花言葉があるガベラの空に飛び立つ様子を描いた。生徒全員の気持ちを込め、「前を向こう 私たちは一人じゃない」というメッセージも添えた。

3年生172人が、瓦や木材を細かく砕いたり、色を塗ったりして3週間かけて完成させた。中心になって制作した谷口ゆずのさん(14)は「豪雨災害も重なり、大変な思いをしている人がたくさんいると思う。でも、みなさんは1人じゃないという気持ちと、元気をあげられたらという気持ちを込めた」と話した。(前多健吾)

## 11月4日(月) 朝日新聞に掲載

今後は、「能登にエール」を送るだけではなく、3年生の皆さんには能登半島地震募金活動のボランティアに参加してほしいと考えています。3月にも実施し、参加者は10人程度でした。今回は、多くの3年生が参加してくれることを願っています。また、募金は穴水町に直接届ける予定です。(下記の内容は予定です)

**実施する日：12月10日(火)、11日(水)**

**場所と時間：学校玄関前 7:30~7:50**

**アルプラ津幡店 16:00~17:00**

